

学術講演会・研究発表会・公開講座

地域社会研究会 開催のお知らせ

弘前大学大学院地域社会研究科では、地域社会研究会を下記により開催いたします。
地域社会にかかわる研究に興味のある方はどなたでも参加・聴講できますので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 2013年11月16日（土） 13：00～
2. 場 所： 弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大4階 演習室
3. 対 象： 地域社会にかかわる研究に興味のある方ならどなたでも参加・聴講可能です。
4. プログラム：

- 13：00～ 小岩 直人（教育学部教授）
「海成段丘の広がる町「鱒ヶ沢町」における防災実践の試み」
- 太田 尚子（12期生）
「アートプロジェクトによる『創造の場』形成の可能性と課題」

5. 参加費： 無 料

問い合わせ先： 弘前大学地域社会研究会事務局 竹ヶ原 公
E-mail:takegahara2002@yahoo.co.jp



**2013年度弘前大学人文学部「複言語・複文化教育プロジェクト」トーク・セッション
「つながることの大切さーともに語ろう、ともに作ろう
ー複言語・複文化の考え方から生まれてくるもの」 開催のお知らせ**

弘前ですすめている「複言語・複文化プロジェクト」（「まちをキャンパスに！」）を広く知っていただき、プロジェクト活性化にむけて、学生／市民の主体的活動を盛り上げる目的で、ゲスト講師の進行による授業ライブ形式で、トークセッションを行います。

【内 容】

- ・慶応大SFC（湘南藤沢キャンパス）の活動の中でも、学生が主体で行っているものを紹介していただく
- ・講師の進行で、弘前大学ですすめている「複言語・複文化プロジェクト」の活動を紹介する（・プロジェクト推進イベントに向け、グループワークでアイデアを出し合ってみる）

1. 日 時： 2013年11月22日（金）18:00～19:30

2. 会 場： 弘前大学総合教育棟4階 404視聴覚教室

3. 講 師： 國枝 孝弘 氏（慶應義塾大学 教授）

2010年上半期・2003～2005年：
NHKフランス語会話講師

2011年～2013年上半期：
NHKフランス語ラジオ講座講師

4. 対 象： 学生＋一般市民
（語学学習者以外の方も、ぜひお気軽にご参加ください）
※事前申込は不要です。

5. 参加料： 無 料

6. 主 催： 弘前大学人文学部（学部戦略経費「複言語・複文化教育プロジェクト」）

問い合わせ先： 弘前大学人文学部 熊野真規子
TEL：0172-39-3975
E-mail: french@cc.hirosaki-u.ac.jp



**弘前大学大学院保健学研究科 高度実践被ばく医療人材育成プロジェクト
「放射線リスクコミュニケーション教育部門第2回講演会」 開催のお知らせ**

弘前大学大学院保健学研究科では、文部科学省特別経費事業「緊急被ばく医療の教育・研究体制の高度化及び実践的プログラムの開発」（平成25年度～平成29年度）を実施しております。この取り組みの一環として、いま求められるリスクコミュニケーションとは何かを理解することを目的とし、標題の講演会を開催いたします。

1. 日 時： 2013年11月26日（火）18:00～19:30

2. 会 場： 弘前大学大学院保健学研究科
総合研究棟 6階 第24講義室

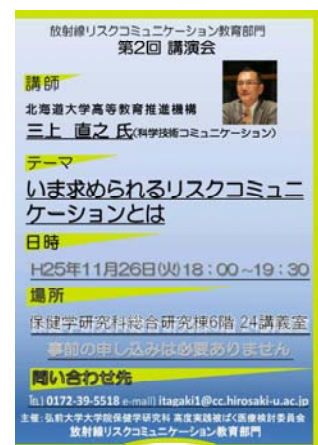
3. 対 象： 興味のある方はどなたでも参加できます。
（事前申込は不要です）

4. 講 師： 北海道大学高等教育推進機構 准教授
三上 直之 氏
（科学技術コミュニケーション）

5. テーマ： 「いま求められるリスクコミュニケーションとは」

6. 参加費： 無 料

7. 主 催： 弘前大学大学院保健学研究科 高度実践被ばく医療検討委員会
放射線リスクコミュニケーション教育部門



問い合わせ先: 弘前大学大学院保健学研究科 総務グループ

TEL: 0172-39-5518

哈爾濱師範大学 劉愛軍教授による特別講演会 開催のお知らせ

弘前大学では、哈爾濱師範大学と平成7年に大学間協定を締結しました。その協定に基づき、平成9年以降、隔年で教員を招へいし、教育・研究交流等を活発におこなっております。

この度、第8回招へい教員・劉愛軍教授による特別講演を行いますので、ふるってご参加ください。

1. 日時: ① 2013年11月27日(水) 14:20~15:50
② 2013年11月28日(木) 16:00~17:30

2. 会場: ① 人文学部棟 4階 多目的ホール
② 総合教育棟 3階 319講義室

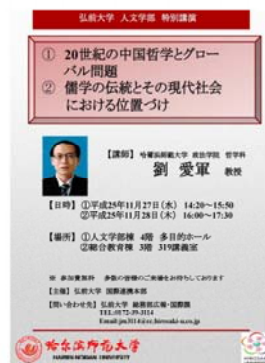
3. 講演者: 哈爾濱師範大学 劉愛軍 教授

4. 講演: ① 20世紀の中国哲学とグローバル問題
② 儒学の伝統とその現代社会における位置づけ
※ 全て中国語で行われます(通訳有り)。

5. 対象: 興味のある方ならどなたでも
(事前申込は不要です)

6. 参加費: 無料

7. 主催: 弘前大学国際連携本部



問い合わせ先: 弘前大学総務部広報・国際課

TEL: 0172-39-3114

E-mail: jm3114@cc.hirosaki-u.ac.jp

**平成25年度文部科学省 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業
弘前大学フォーラム「課題解決型学習と学生の主体的な学びⅡ」開催のお知らせ**

文部科学省G P「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」は、地元の企業、経済団体、地域の団体や自治体等と連携し、産業界のニーズに対応した人材育成を行う取り組みです。弘前大学は、北海道・東北地区の17大学と連携し、共通テーマ「産官学連携による地域・社会の未来を拓く人材の育成」のもと、大学独自のテーマに「地域企業と実践する課題解決型学習による主体的な学び」を掲げ、社会的・職業的に自立し、産業界のニーズに対応した人材育成の取り組みを行っています。

フォーラムでは、「課題解決型学習を通し『自己』と『地域』の成長を考える」をテーマとし、地域企業の抱える経営課題を素材に行った課題解決型学習(PBL)の成果発表を行います。

1. 日時: 2013年12月6日(金) 15:00~17:10

2. 会場: ベストウェスタンホテルニューシティ弘前
(弘前市大町1-1-2)

3. テーマ: 「課題解決型学習を通し「自己」と「地域」の成長を考える
~大学生のチャレンジ2013~」

4. プログラム :

(14:30~)

【受付開始】

15:00~15:05 開会挨拶 弘前大学理事(教育担当) 中根 明夫

15:05~17:05 学生による取組成果発表(学生によるプレゼンテーション)

—協力企業先(順不同)—

①弘前マルシェコンソーシアム

②道の駅ひろさきサンフェスタいしかわ

③A-FACTORY(株式会社JR東日本青森商業開発)

④あおもり観光デザイン会議

⑤株式会社 小林紙工

⑥たびすけ 合同会社西谷

⑦ブナコ漆器製造株式会社

17:05~17:10 閉会挨拶 弘前大学人文学部長 今井 正浩

18:00~

【懇親会】

会 場 : ブロッサムホテル1階 BE・SIDE
(弘前市駅前町7-3)

会 費 : 3,000円

5. 対 象 : 本学教職員及び学生、国公立大学・高校・企業関係者、
行政関係者、一般市民 等

6. 参加費 : 無 料

7. 主 催 : 国立大学法人弘前大学

8. 参加申込 : 参加を希望される場合は、氏名・所属・電話番号・メールアドレスを記載のう
え、下記担当まで2013年11月27日(水)までに、eメール等でお申し
込みください。

また、懇親会に出席の場合は会費が必要になります。参加を希望される際には、
懇親会への出欠についても併せてお知らせくださるようお願いいたします。

9. 事前申込締切 : 2013年11月27日(水)

申込み・問い合わせ先 : 弘前大学人文学部 地域連携人材育成事業事務局
(総合教育棟2階) 中屋敷 雅江
TEL : 0172-39-3978
E-mail : gp@cc.hirosaki-u.ac.jp

**学術講演会「リーマンゼータ関数の critical line 上の偏角に関する評価について」
開催のお知らせ**

1. 日 時 : 2013年12月6日(金) 17:00~18:00

2. 会 場 : 弘前大学理工学部2号館 10階 1005号室

3. 対 象 : 興味がある人ならどなたでも参加可能
(事前申込は不要です)

4. 講演者： 若狭 尊裕 氏（名古屋大学大学院多元数理研究科D3）

5. 題 目： 「リーマンゼータ関数の critical line 上の偏角に関する評価について」

6. 講演内容：

本講演ではリーマンゼータ関数の critical line 上の偏角を表す関数 $S(t)$ を扱う。これはリーマンゼータの零点の個数を評価した Riemann-von Mangoldt formula と呼ばれる式の残余項に現れ、Selberg や Littlewood らの先行研究が大きな結果を残し、以来なかなかその結果のめざましい改良はなされていない。というのも $S(t)$ の挙動が極めて複雑なため、扱うのが困難な関数だからである。そこで $S(t)$ の周辺を探るためにその積分を考える。今回はリーマンゼータの導入の後、 m 回多重積分した $S_m(t)$ のオーダー評価や、1986年以來改良がなされなかった $S_1(t)$ のオメガ評価について紹介する。

また、大学院における研究生活についても紹介する（講演者は今年度中に博士号の学位取得が見込まれている）。

問い合わせ先： 弘前大学大学院理工学研究科 小松尚夫
TEL：0172-39-3534
E-mail: komatsu@cc.hirosaki-u.ac.jp

**2013年度弘前大学人文学部「複言語・複文化教育プロジェクト」シンポジウム
「これでいいのか、大学の外国語教育！」 開催のお知らせ**

弘前大学フランス語ホームページ（下記URL参照）は、2008年の開設以来、地域に開かれた「学びのコミュニティ」をめざして活動し、フランス語モデルとして「複言語・複文化教育プロジェクト」をすすめています。その取り組みの一環として、人文学部主催（科研費共催）で、「外国語教育のあり方」について議論し、理解を深めるためシンポジウムを開催いたします。学内の教職員・学生のみならず、小・中・高・大学の教育関係者、一般市民の多数のご参加をお待ちしております。

※弘前大学フランス語ホームページ：

<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/french/>

1. 日 時： 2013年12月12日（木）18:00～20:00

2. 会 場： 弘前大学創立50周年記念会館 みちのくホール

3. プログラム：

問題提起： 「日本人にとっての外国語教育
～言語学の立場から～」

講 演： 「大学英語教育はこの危機にいかに対処するか？」
「英語教育と第2外国語教育の改革は可能か？」
「第2外国語教育はなぜ必要か？」 + 討 論



◆ 講 師

山本秀樹 : 弘前大学人文学部教授
(問題提起/進行)

森住 衛 : 桜美林大学特任教授、大阪大学名誉教授、
日本言語政策学会会長、大学英語教育学会前会長・現顧問

大木 充 : 京都大学名誉教授、元NHKテレビ・フランス語講師、
2014年度～ NHKラジオ・フランス語講師

西山教行 : 京都大学大学院教授

4. 対 象 : 教職員、学生、小・中・高・大学教育関係者、一般市民 等
どなたでも参加可能です。
※事前申込は不要です。

5. 参加料 : 無 料

6. 主 催 : 弘前大学人文学部 (学部戦略経費「複言語・複文化教育プロジェクト」)

問い合わせ先: 弘前大学人文学部 熊野真規子
TEL : 0172-39-3975
E-mail : french@cc.hirosaki-u.ac.jp

シンポジウム「受刑者の権利保障と社会復帰に向けて」 開催のお知らせ

裁判員制度が施行されて4年が過ぎ、青森県内でも60例近くの裁判員裁判が行われています。裁判員経験者からは、被告人に対して“更生”を期待する声が聴かれる一方、(元)被告人が、その後どのような道を歩むのかはあまり知られていません。そこで、このシンポジウムでは、とくに実刑を受けた(元)被告人の現状を知り、真の“更生”を目指すためには何が必要かを、来場された方と一緒に考えたいと思います。

1. 日 時 : 2013年12月14日(土) 14:00～17:00
2. 場 所 : 弘前大学人文学部棟4階多目的ホール
(文京キャンパス内)
3. 対 象 : 学内外問わず参加歓迎
(事前申込は不要です)
4. 内 容 :

□報告と講演

1. 平野 潔 (弘前大学人文学部)
「企画趣旨と裁判員裁判後の(元)被告人」
2. 河合 正雄 (弘前大学人文学部)
「受刑者の権利保障の現状」
3. 五十嵐 弘志 (民間非営利団体マザーハウス・代表、VIPプリズム・会長)
「人生は出逢いで決まる」

□質疑と意見交換

5. 主 催 : 弘前大学人文学部現代社会課程法学コース・青森家庭少年問題研究会

*入場無料です。

*本シンポジウムは、平成25年度人文学部教育プロジェクト等支援経費「法的資質を育成する法教育・法学教育プロジェクト」の一環です。



*詳細については、下記URLをご参照ください。

<http://www.saibanhou.com/sympo2013d.html>

問い合わせ先: 弘前大学人文学部 平野 潔
TEL: 0172-39-3199
E-mail: k-hirano@cc.hirosaki-u.ac.jp

学術講演会「素数はどのようにして生成されるか」 開催のお知らせ

1. 日 時: 2013年12月20日(金) 17:00~18:00
2. 場 所: 弘前大学理工学部2号館 10階 1005号室
3. 対 象: 興味のある人ならどなたでも参加可能
(事前申込は不要です)
3. 講演者: Omar Khadir 氏 (モロッコ・ハッサン第二大学教授)
4. 題 目: 「素数はどのようにして生成されるか」
5. 概 要: 素数は、数学やその応用で基本的な役割を果たす。この講演では、素数を生成するのに使われる方法やアルゴリズムについて述べる。与えられた自然数が素数かどうかを判定する方法としての、フェルマーの小定理やミラー・ラビンの方法などから、最新の結果を紹介する。モロッコにおける数学や数学教育についても述べる。

問い合わせ先: 弘前大学大学院理工学研究科 小松尚夫
TEL: 0172-39-3534
E-mail: komatsu@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学金木農場「農場祭」 開催のお知らせ (再掲)

弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センターでは、地域の皆様との結びつきを深めるために「農場祭」を開催します。どうぞお気軽にご来場ください。

1. 日 時: 2013年11月16日(土) 9:30~15:00
2. 場 所: 弘前大学金木農場
(五所川原市金木町芦野84-133)
3. 催し物:

○農場生産物販売コーナー (9:30~)
金木農場と藤崎農場で丹精込めて作ったものです。是非、お買い求めください。

金木農場産・・・新米(つがるロマン、まっしぐら、もち米)、弘大アップルビーフ、羊肉

藤崎農場産・・・りんご、ねぎ
(何れも数に限りがございますので、売り切れの場合はご了承ください)



○販売（9：30～順次）

弘大生協コーナー・・・金木農場産酒米を使用した日本酒「弘前大学」など。
お食事コーナー、弘大グッズ等

○その他出店（9：30～順次）

金木町斜陽の詩・稲垣町「おかずや」（お惣菜など）etc.

○展示（終日）

藤崎農場・金木農場の教職員による研究・展示
（紅の夢、無農薬りんご、アップルビーフ、牧草など）

問い合わせ先：弘前大学農学生命科学部

附属生物共生教育研究センター 金木農場

TEL：0173-53-2029

FAX：0173-53-5137

E-mail: jm532029@cc.hirosaki-u.ac.jp

「地熱発電国際シンポジウム in 弘前」 開催のお知らせ（再掲）

このたび、地域におけるエネルギーの自給率向上や安定供給、地域の活性化等を図るため、現在、地熱資源開発調査を行っている岩木山麓の地熱発電に向け、地産のエネルギー開発や熱の有効利用をめざして、海外からの最新情報を交えながら、地熱発電の可能性について議論し、理解を深めるためシンポジウムを開催することといたしました。

この機会に、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 2013年11月17日（日） 13：00～17：00

2. 会 場： ホテルニューキャッスル 3階 「麗峰の間」
（弘前市上鞆師町24-1）

3. 対 象： どなたでも参加可能
（但し、電話での事前申込が必要です）
定員300名（申込者多数の場合は先着順となります）

4. プログラム：

第1部 地熱利用先進国からの報告

《特別講演》

レイキャビク・エネルギー社 自然資源研究部長 エナール・グンラーグソン博士
バンドン工科大学地質学教室講師 アズナビル・ナスティオン博士

第2部 青森県の地熱発電を考える

《講演》

湯沢地熱株式会社 取締役社長 中西 繁隆
弘前大学 北日本新エネルギー研究所 所 長 村岡 洋文
弘前大学 北日本新エネルギー研究所 准教授 井岡 聖一郎

5. 受講料：無 料

6. 主 催：弘前市



共 催：国立大学法人 弘前大学北日本新エネルギー研究所

後 援：東北経済産業局、青森県

7. 申込み：下記問い合わせ先までお申込みください。

※ 詳しくは弘前市のホームページをご覧ください。

http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gyosei/keikaku/smart_jigyou/index.html#sym

申込み・問い合わせ先：弘前市都市環境部スマートシティ推進室

TEL：0172-40-7109

**電子情報通信学会東北支部 学術講演会
次世代型IT基盤技術開発センター講演会 開催のお知らせ（再掲）**

1. 日 時： 2013年11月18日（月）13：00～14：00

2. 場 所： 弘前大学創立50周年記念会館 みちのくホール

3. 対 象： どなたでもご参加いただけます（事前予約不要です）。
教職員、学生、その他一般の方のご参加をお待ちしております。

4. 概 要： ロボットが人間と経験を共有して日常的な言語コミュニケーションをするためには、ロボットが、感覚・運動系などの認知機能との関連性を含めた総体としての言語システムを、いかに構成、利用するかが課題である。本講演では、ロボットが発話や身体的な行動によるユーザとの共同行為を通して、物体概念と動作を含む総体としての言語システムをボトムアップに学習し、マルチモーダル言語コミュニケーションを実現する、従来とはまったく異なるヒューマン・ロボット・コミュニケーション技術のアプローチ—発達のアプローチ—について述べる。

5. 講演題目： 「マルチモーダル言語コミュニケーションを学習するロボット」

6. 講 師： 京都大学大学院情報学研究科 知能情報学専攻 研究員 岩橋 直人 氏

7. 受講料： 無 料

問い合わせ先：弘前大学大学院理工学研究科 岡本 浩

TEL：0172-39-3636

E-mail:okamoto@eit.hirosaki-u.ac.jp

白神山地世界自然遺産登録20周年記念シンポジウム 開催のお知らせ（再掲）

このたび、弘前大学白神自然環境研究所・弘前大学白神研究会の共催で、白神山地世界自然遺産登録20周年記念シンポジウム「白神山地を学びなおす」を開催致します。

白神山地が世界自然遺産に登録されてから20年が経過したが、世界自然遺産にふさわしい自然の価値を今後とも保全しながら地域振興を図るために、白神山地の自然の特性やこれまでの利用と保護の歴史に基礎をおきつつ現状を把握することによって、これからの白神山地に重要な課題を考え、日本各地の情報も取り入れて今後に必要な取り組みを議論します。多数の方々のご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 2013年11月24日（日）9：00～17：00

2. 場 所：弘前大学創立50周年記念会館 及び 総合教育棟

3. 対 象： 一般市民の方

4. プログラム：

●第Ⅰ部 全体セッション（9：00～12：00）

会 場： 創立50周年記念会館 みちのくホール

1) 世界遺産登録前の白神山地

弘前大学名誉教授 牧田 肇 氏

2) 世界自然遺産としての白神山地

東北大学大学院生命科学研究科教授、

白神山地世界自然遺産科学委員会委員長 中 静 透 氏

3) 知床からの報告

斜里町立知床博物館長 山中 正実 氏

4) 屋久島からの報告

屋久島商工観光課長 松本 薫 氏

5) 四万十からの報告

公益財団法人四万十川財団事務局長 神田 修 氏

●第Ⅱ部 分科会（13：30～15：30）

会 場： 総合教育棟

1) 白神山地の今後の変動とモニタリング体制

2) 外来生物やシカとの軋轢の将来と対策

3) 保全と自然利用のあり方

●第Ⅲ部 総合討論（15：45～17：00）

会 場： 創立50周年記念会館 みちのくホール

◇展示コーナー（9：00～17：00）

会 場： 創立50周年記念会館 岩木ホール 他

白神山地の写真、研究・活動紹介のポスター、物産等を展示し、普及啓発する。

問い合わせ先： 弘前大学白神自然環境研究所

TEL：0172-39-3706、3707、3708



分析化学と化学分析の青森フォーラム2013 開催のお知らせ（再掲）

県内の会員及び分析化学・化学分析に従事する研究者・技術者の交流を深め、情報交換を行うことを目的としています。これまで、日本分析化学会の行事に参加する機会が少なかった会員も是非ご参加ください。

1. 日 時： 2013年11月28日（木）14:30～17:00

2. 場 所： 弘前大学大学院理工学研究科 大会議室

3. 対 象： 物質の化学分析に興味をお持ちの方ならどなたでも
(事前申込は不要です)

4. 講 演： 【1】 生体試料の高感度分析を目指した簡易操作型電気
泳動チップの開発

弘前大学大学院理工学研究科

北川 文彦

【2】 金ナノ粒子を利用した生体分子間相互作用解析法の開発

秋田大学大学院工学資源学研究所 藤原 一彦

【3】 ESR法による皮膚角層脂質の構造解析

弘前大学大学院保健学研究所

中川 公一

5. 参加費： 無 料

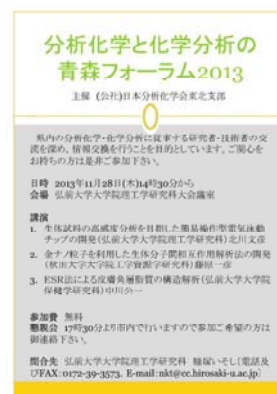
6. 主 催： (公社)日本分析化学会東北支部

7. その他： 講演会後17:30より、弘前市内で懇親会を開催しますので、参加をご希望
の方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

問い合わせ先： 弘前大学大学院理工学研究科 糠塚いそし

TEL・FAX：0172-39-3573

E-mail: nkt@cc.hirosaki-u.ac.jp



文部科学省「社会システム改革と研究開発の一体的推進」事業 地域再生人材創出拠点の形成
「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」
「平成25年度 第6回被ばく医療プロフェッショナルセミナー」 開催のお知らせ (再掲)

弘前大学「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」では、福島県相双保健福祉事務所 健康福祉副部長(兼)健康増進課長 小野 喜代子 氏をお招きし、被ばく医療プロフェッショナルセミナーを開催いたします。

1. 日 時： 2013年11月29日（金）18:00～19:00

2. 会 場： 弘前大学保健学研究所6階 第24講義室

3. 講 師： 福島県相双保健福祉事務所
健康福祉副部長(兼)健康増進課長 小野 喜代子 氏

4. 演 題： 福島県における災害時の保健師活動
～相双保健福祉事務所における被災者健康支援活動を通して～

5. 参加料： 無 料



6. 申込み：

2013年11月28日（木）までに電話・FAX・メールのいずれかで下記問い合わせ先までお申込みください。

○メールの場合：メールの件名を「被ばくセミナー申込」とし、所属・職名・氏名を本文へ記入の上、下記メールアドレスまでお申込みください。

○電話・FAXの場合：下記電話番号またはFAX番号まで、所属・職名・氏名を添えてお申込みください。

申込み・問い合わせ先： 弘前大学「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」事務局
被ばく医療総合研究所
TEL：0172-39-5521
FAX：0172-39-5514
E-mail：jm5401@cc.hirosaki-u.ac.jp

**平成25年度弘前大学大学院保健学研究科
博士前期課程・後期課程 大学院進学ガイダンス 開催のお知らせ（再掲）**

保健学研究科では、2014年1月25日（土）に博士前期課程及び博士後期課程の選抜試験を実施します。これに先立ち、大学院進学に関心をお持ちの方々を対象に、下記の日程で大学院進学ガイダンスを企画しましたので、ご案内いたします。

1. 日 時： 2013年11月29日（金） 19：00～19：30（予定）

2. 場 所： 【弘前会場】弘前大学大学院保健学研究科4階 第19講義室

【八戸会場】弘前大学八戸サテライト（八戸商工会館1階）

※双方向遠隔授業システムを使用した、両会場での同時開催となります。

3. 内 容： （1）大学院概要説明
（2）募集要項説明
（3）質疑応答及び個別相談

4. 対 象： 本学大学院進学に関心をお持ちの方

5. 参加申込みについて：

参加ご希望の方は、お名前、連絡先（電話番号）、進学をお考えの課程（博士前期課程・博士後期課程）、参加希望会場をご記入のうえ、FAXまたはE-mailにて、11月20日（水）までに下記問い合わせ先にお申し込みください。

申込み・問い合わせ先： 弘前大学保健学研究科学務グループ
TEL：0172-29-5913
FAX：0172-39-5912
E-mail：jm5911@cc.hirosaki-u.ac.jp

**高分子学会東北支部会員増強対策講演会
－新しいフッ素系機能性材料の展開－ 開催のお知らせ（再掲）**

1. 日 時： 2013年12月2日（月） 10：00～12：00

2. 場 所： 弘前大学大学院理工学研究科1号館 2階 大会議室

3. 対 象： 本学学部学生・大学院生及び社会人一般の方（事前申込不要）

4. プログラム：

10:00～11:00 「フッ素エラストマーの実際」
ダイキン工業株式会社 角野 栄作 氏

11:00～12:00 「フルオロアルキル基を有するhead-to-head型スチレンダイ
マー類の選択的合成とその性質」
島根大学医学部 教授 吉田 正人 氏

5. 参加費： 無 料

問い合わせ先： 弘前大学大学院理工学研究科 澤田 英夫
TEL：0172-39-3947
E-mail:hideosaw@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学資料館企画展

「白神標本保存百年プロジェクト～標本が語りだす～」 開催のお知らせ（再掲）

弘前大学資料館では9月16日の豪雨による災害の影響により臨時休館をしておりましたが、このたび10月21日（月）に再開館いたしました。

再開館の同時企画として、「白神標本保存百年プロジェクト～標本が語りだす～」と題した企画展を開催しております。白神山地が世界自然遺産に登録されて今年で20年になります。今回の展示では、白神山地の多様な動植物を示しながら、動植物の標本を収集、保存することの意義、標本から分かること、標本を用いた研究例などを紹介するこの白神山地の多様な動植物を示しながら、動植物の標本を収集、保存することの意義、標本から分かること、標本を用いた研究例などを紹介いたします。

みなさまのご来館をお待ちしております。

1. 日 時： 2013年10月21日（木）～12月20日（木）
10:00～16:00
（土・日・祝・休日は休館です）

2. 場 所： 弘前大学資料館 企画展示室

3. テーマ： 「白神標本保存百年プロジェクト～標本が語りだす～」

問い合わせ先： 弘前大学白神自然環境研究所 准教授 中村剛之
TEL：0172-39-3707
E-mail: dhalma@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学資料館
TEL：0172-39-3432
E-mail: jm3432@cc.hirosaki-u.ac.jp



文部科学省「情報ひろば」にて

弘前大学「被ばく医療」の取組に関する企画展示のお知らせ（再掲）

弘前大学は、文部科学省 情報ひろば「旧秘書官室」において、『「被ばく医療」の取組』について、一般の方々に分かりやすく紹介するための企画展示を行うことになりました。

これまで本学が取り組んできた被ばく医療人材育成や東日本大震災後に発生した東京電力福島第

一原子力発電所事故での福島県への支援等について、パネル等で紹介いたします。

1. 展示期間等： 2013年8月1日（木）～11月20日（水）
月曜から金曜の10:00～18:00 ※土曜・日曜・祝日は休館日です。
2. 展示場所： 旧文部科学省庁舎3階 情報ひろば「旧秘書官室」
(東京都千代田区霞が関3-2-2)

3. 展示概要：

本学では、緊急時の危機管理対策の一環として、以前から被ばく医療に即応可能な体制の整備に取り組んでおり、これまでに、医学部、大学院保健学研究科、被ばく医療総合研究所等において被ばく医療の教育、研究を通して、被ばく医療を担える人材の育成を図ってきたほか、医学部附属病院高度救命救急センターでは、被ばく患者を受入、治療を行える体制を整えてきました。

東日本大震災後に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故により、大量の放射性物質が大気中に放出され、環境等への影響を及ぼすようになったことから、放射線に関する基礎知識を多くの方々に理解していただくとともに、本学がこれまで取り組んできた被ばく医療に関連する人材育成や福島県への支援等について紹介します。

【主な展示物】

○パネル展示

- ・放射線の基礎知識
- ・被ばく医療の人材育成
- ・福島県への支援
- ・活動成果の学術的情報発信 など

○実物展示

- ・霧箱（放射線の飛跡を観測することができる装置です。）
※霧箱実物を展示しますが、放射線の観測は、事前に撮影した映像をモニターで紹介
します。
- ・放射線測定器
※日常生活で身のまわりにある「乾燥コンブ」等の放射線測定器「ベータちゃん」で
測定できます。

問い合わせ先： 弘前大学総務部広報・国際課
TEL：0172-39-3012
E-mail: jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp

学 内 掲 示 板

弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

問い合わせ先： 弘前大学出版会（附属図書館内）
TEL：0172-39-3168
FAX：0172-39-3171
E-mail: hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

*最新刊 第30号より、情報誌の名称が「JANU」から「国立大学」へリニューアルしました。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<http://www.janu.jp/report/infomation.html>

第28号・第25号・第23号・第22号・第18号において、本学記事が掲載されていますので、ご覧ください。

編集担当から) 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日(毎月1日と16日の2回)の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当: 総務部広報・国際課広報・国際グループ

E-mail: jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp FAX: 39-3498、内線: 3029